



令和5年度 那覇市農林水産物・食品の域内流通強化支援事業



パッションフルーツを知ろう



現場の声 生産者／照屋和江さん

つる性植物であるパッションフルーツは、放っておくとあちらこちらにつるを伸ばして絡まってしまいます。それに風の強い日は一生懸命掴まろうとして、伸び方が全然違う。だからその都度、不要なつるを全部取り除き、地面に向かってきれいに垂れ下がる樹形を作っています。台風などで3日来れないと、元に戻すのに5日かかるんです。声で訴えたり自分で移動したりできないからね。パッションフルーツにとって、ここを過ごしやすい環境にするのは私の役目なんです。

楽しむ才能① データ収集

パッションフルーツは手がかかると言われるが、その理由の一つが受粉作業。自分の花粉で結実しない品種も育てているため、別の木から採取した花粉を一つ一つ手作業で受粉させている。この受粉作業が好きだと言いきれいに整えられた棚は、花芽の数や受粉作業の管理を効率よく行う工夫がされている。「受粉しながら、いつ、どれくらいのサイズが、どれくらいの量、獲れるかわかる。虫や病気のチェックもできるよ。」照屋さんは、生育状況を毎日手帳に記録。18年分のデータから最高のパッションフルーツを作る。



楽しむ才能② 生態調査

有機農業では農薬の使用が制限されているため、照屋さんは病害虫の防除に土着天敵の力を活用している。益虫を住まわせるために花を植え、ほ場のすみの小さな池にはカエルがいる。見知らぬ虫がほ場内にいると、どこに付いているのか、何を食べているのかを知るために虫かごに入れて飼育したり、専門家に頼んで調べてもらったりするという。「虫が教えてくれる」ことに耳を傾けることで病気のまん延を防ぐことができるといふ。沖縄で有機農業に取組む人からも問い合わせが多い、有機農法の先駆者である。



研究者で努力家

国も力を入れている有機農業。安定生産の技術や資材供給、認証取得費用などの面で生産者にとってのハードルはまだ高い。「高く売りたいから有機 JAS をやっている」と誤解している人が多いのかもしれないけど、そうじゃない。私は自分の腕を上げるためにやっている。去年より上手になりたいし、それをずっと続けたい」と照屋さんは話す。上手くいったこともいかなかったことも「なぜそうだったか」を追究。おいしさに定評のある照屋さんのパッションフルーツ、その理由がここにある。



03 情熱が作る、綺麗なパッションフルーツ

「てるてるファーム」

有機 JAS 認証を取得し、恩納村でパッションフルーツとアテモヤを栽培するてるてるファームの照屋和江さんは、優れた農業経営を行い、地域振興に意欲的な農業を実践する女性農業士。農業を学ぶ学生や同じ有機農業に携わる農業者など全国からの視察が絶えない照屋さんのほ場は、心地よく整えられて深呼吸したくなるような空気に包まれている。風が通りぬける棚に実をつけるパッションフルーツはとても気持ちよさそうにその実の色付けている。



「パッションフルーツについて」

カロテンが多く含まれ風邪の予防や美容に効果があると言われているパッションフルーツは、甘みと酸味と、豊かな香りが魅力の熱帯果樹。拠点産地に指定されている恩納村にはたくさんのパッションフルーツ生産者がいるが、有機 JAS 認証を取得している人は照屋さんだけ。3月～6月頃に最盛期を迎え、華やかな南国らしさを感じさせる果物として人気のフルーツとなっている。



〈お問い合わせ〉 直取引、市場出荷は行っていません。出荷時期となる2月～6月は、楽天市場 楽天ファーム店、または近隣の農産物直売所(おんなの駅、ゆんた市場)で購入可能です。人気商品のため、早めにお越しいただければ幸いです。

おんなの駅なかくい市場
「楽天市場 楽天ファーム店 てるてるファーム パッションフルーツ」で検索